

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 11. 6

下水道機構の『新技術情報』 第307号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

連休はお天気に恵まれ絶好の行楽日和になりましたね。広島、愛媛へ旅行へ行ってきました。初めての中国、四国地方への旅です。「初」というのはワクワクしますね♪着いてすぐチェックしたのがマンホール蓋。来週のゆいまーるに掲載しますので、お楽しみに(^_-)☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第307号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご利用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・ 浸水対策シンポジウムにおけるアンケート要望等についてホームページへ掲載！
- ・ 第67回下水道新技術セミナーのCPD受講証明について
- ・ 下水道機構情報 PLUS+ 第13号を発行しました！

■機構の動き

- ・ 今週は、11/9(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・ バジルはバジルでも・・・

(研究第一部 ペンネーム 癒しガイドラインさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

マレーシア、クアラルンプールで開催された国際水協会の第7回アジア太平洋地域会議 (IWA-ASPIRE)・展示会へ機構職員が参加しましたので、その様子をお届けします

■国からの情報

- ・ 11/2 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

●浸水対策シンポジウムにおけるアンケート要望等についてホームページへ掲載！

8/3(木)に開催致しました「[シンポジウム]安全・安心なまちづくりに向けた新たな浸水対策」では、多数の方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

ご協力頂きましたアンケートの【質問】「当機構に求める研究がありましたら教えてください。」におきましてのご要望に関して、当機構の方向性についてホームページへ掲載しました。

詳細はこちら→

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/etc/%e6%b5%b8%e6%b0%b4%e5%af%be%e7%ad%96%e3%82%b7%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%82%b8%e3%82%a6%e3%83%a0%e3%81%ab%e3%81%8a%e3%81%91%e3%82%8b%e3%82%a2%e3%83%b3%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%88%e8%a6%81%e6%9c%9b%e3%81%a8>

●第 67 回下水道新技術セミナーのCPD受講証明について

下水道新技術セミナーは、(公社)土木学会の継続教育(CPD)プログラムの認定を受けています。各団体のCPD制度(CPDS等)への単位登録申請で受講証明書が必要となる場合は、参加者ご自身で所定の受講証明書(当機構においては書式を規定いたしません)をご用意いただき、当日ご持参いただければセミナー終了後、受付にて受講印を押印いたします。

※詳しくはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●下水道機構情報 PLUS+ 第 13 号を発行しました！

詳細はこちらをご覧ください♪

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20171031/index.html>

。 。 ○ 。

機構の動き (機構の行事予定です)

。 。 ○ 。

●行 事：第 364 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 11 月 9 日(木) 16:00~17:00

講演者：日本下水道事業団 技術戦略部 橋本上席調査役

テーマ：「JS 技術開発計画(4 次計画)について」

※参加申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○第 67 回下水道新技術セミナー「地域バイオマスの展開」

【大阪会場】日時：平成 29 年 11 月 17 日(金) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場所：大阪科学技術センター

【東京会場】日時：平成 29 年 11 月 28 日(火) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場所：東京都港区 発明会館

【定員】大阪会場120名、東京会場250名、

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●バジルはバジルでも・・・

(研究第一部 ペンネーム 癒しガイドラインさんからの投稿です)

みなさん、「ホーリーバジル」という植物をご存知でしょうか。いわゆる「バジル」はイタリア料理等でもお目にかかりますが、シソ科の植物で芳香があり、日本語名で「カミメボウキ」と呼ばれているそうです。

ホーリーバジルという、初めて聞く植物の苗を知人から頂き、自宅の庭に植えました。1か月ほどして思い出した頃に見に行ったところ、変わった香りがしたことが印象的でした。

調べたところ、タイ料理の香草等の他にエッセンシャルオイルやハーブティの材料として使われており、インドでは聖なる植物(トゥルシー:比類なきもの)と呼ばれ、何千年も前から様々な用途で使われており、例えばストレスに対する癒し効果や様々な病気への治療効果があることも最近の研究により明らかになっています。

良いことづくめのホーリーバジル、庭で育ったものを先日ハーブティーにして飲んでみました。・・・決してたくさん飲めるものでもないですが、香りも味も「さわやか」な感覚でした。「身体に良い」ということなので、今では1週間に1度くらい飲むようにしています。

最近、メンタルヘルスケアの重要性が社会的にクローズアップされていますが、予防的な意味もあり、こういったホーリーバジルのような身近にある植物(ハーブ)に癒されながら明るく健康に過ごしていければ、と思った今日この頃でした。

ホーリーバジル、皆さんも是非一度、お試してください。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●マレーシア、クアラルンプールで開催された国際水協会の第7回アジア太平洋地域会議(IWA-ASPIRE)・展示会へ機構職員が参加しましたので、その様子をお届けします。→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-11-6>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2017. 11. 2 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

最近、気温も下がり、近くの温泉施設に行く機会が増えました。仙台に勤務時代は、
県内の鳴子温泉によく通いました。鳴子温泉は泉質が豊富で、鳴子温泉協会の HP によ
ると、国内にある 11 の泉質のうち 9 つがこの温泉郷にあるそうです。バスクリンのよ
うな黄緑の温泉を見たのもここが初めてでした。川渡、東鳴子、鳴子、中山平、鬼首
の各温泉の異なる泉質を味わいに家族で毎週通いました。機会があればまた訪れたい
場所です。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○水環境マネジメントに関するナレッジ共有会議を開催します (流域管理官)

○「下水道展' 18 北九州」出展応募を 11 月 1 日から開始予定 ((公社) 日本下水道協会)

○浜松市公共下水道終末処理場 (西遠処理区) 運営事業公共施設等運営契約の締結に
ついて (浜松市)

○11/17(金) @大阪会場、11/28(火) @東京会場にて第 67 回下水道新技術セミナーを開
催します (日本下水道新技術機構)

○第 32 回「下水道循環のみち研究会」のご案内 ((一社) 日本下水道施設業協会)

=====

○水環境マネジメントに関するナレッジ共有会議を開催します (流域管理官)

国土交通省では、地域のニーズに応じた水環境マネジメントの実現に向けた取組の
一環として、平成 27 年度より水マネウィークを設定し、水環境マネジメントに関わる
情報やノウハウを共有し、参加者が抱える技術的課題やその解決策について議論を深
めています。

今年度は 11 月 13 日～11 月 22 日を水マネウィークとし、下記 2 つのナレッジ共有会
議を開催し、水環境マネジメントへの理解等を深めていくこととしております。

■既存ストックを活用した高度処理促進に係るナレッジ共有会議

(国土交通省主催の水処理二軸管理手法検討会との共催により開催)

1. 日 時：平成 29 年 11 月 13 日 13 時 30 分～17 時 (予定) (14 日は現地視察のみ)
2. 場 所：京都府洛西浄化センター
3. 概 要：事例紹介、水処理二軸管理手法に関する討議、現地視察、意見交換
4. 出席団体：国土交通省、京都府、茨城県、埼玉県、東京都、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、船橋市、横浜市、周南市、久留米市、佐賀市
5. 一般参加：↓↓ 聴講希望者を募集中 ↓↓

13 日の会議については、どなたでも聴講が可能です。聴講希望の方は、下記のとおり、お申込みください。なお、会場の都合上、聴講人数を制限させていただく場合がございます。

【聴講申込み方法】

締 切：平成 29 年 11 月 8 日 (水) 12 時まで

方 法：下記必要事項を記載のうえ、メールにて申込み

宛 先：公益財団法人日本下水道新技術機構 研究第一部 下池あて

E-mail：m-shimoike@jiwet.or.jp

必要事項：所属、氏名、連絡先 (電話、メール)

■多様な生態系の確保に向けた下水道における能動的管理ナレッジ共有会議

1. 日 時：平成 29 年 11 月 21 日、22 日
2. 場 所：愛知県豊川浄化センター、矢作川浄化センター
3. 概 要：事例紹介、能動的運転管理に関する討議、現地視察、意見交換
4. 出席団体：国土交通省、愛知県、兵庫県、高松市、福岡市、佐賀市、大牟田市、荒尾市、中津市、佐賀市 ほか

○「下水道展'18 北九州」出展応募を 11 月 1 日から開始予定 ((公社) 日本下水道協会)

11 月 1 日より、来年の下水道展の出展応募受付を開始いたします。開催地である北九州市をはじめ多くの関係者と協力し、様々な企画を開催いたします。自治体職員はじめ多くの方々にご来場いただけるよう主催者一同準備を進めておりますので、ぜひ出展をご検討下さい。

【「下水道展'18 北九州」開催概要】

名称：下水道、くらしを支え、未来を拓く「下水道展'18 北九州」

会期：2018 年 7 月 24 日 (火)～27 日 (金)

会場：西日本総合展示場 (北九州市)

主催：公益社団法人 日本下水道協会

後援：国土交通省、環境省、経済産業省、文部科学省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、福岡県、北九州市、日本下水道事業団、日本経済新聞社等を予定

協賛：公益財団法人日本下水道新技術機構など約 60 団体を予定

応募申し込みはウェブサイトから

<http://www.gesuidouten.jp>

【申込入力締切】 1月19日（金）

担当：広報課(03-6206-0205)

○浜松市公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業公共施設等運営契約の締結について（浜松市）

浜松市は、PFI 法第 22 条第 1 項の規定に基づき、浜松ウォーターシンフォニー株式会社と、浜松市公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業に係る公共施設等運営権実施契約を締結しました。

1 契約の相手方

浜松ウォーターシンフォニー株式会社

（ヴェオリア・ジャパン株式会社、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社、

JFEエンジニアリング株式会社、オリックス株式会社、東急建設株式会社、

須山建設株式会社が設立した特別目的会社）

2 契約締結日

平成 29 年 10 月 30 日

3 契約期間

平成 29 年 10 月 30 日～平成 50 年 3 月 31 日

4 事業開始予定日

平成 30 年 4 月 1 日

報道発表：

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shise/koho/koho/hodohappyo/h29/10/documents/2017103002.pdf>

実施契約書：<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/suidow-s/gesui/seien/pfi.html#jisshikeiyakuteiketsu>

○11/17(金)@大阪会場、11/28(火)@東京会場にて第 67 回下水道新技術セミナーを開催します（日本下水道新技術機構）

（公益財団法人）日本下水道新技術機構では、地方公共団体等官公庁、民間企業及び関係団体の下水道技術者を対象に、下水道技術の向上を目的として、最新の下水道技術を取り上げ課題解消に向けて知見を深めるため、定期的にセミナーを開催しています。

第 67 回目の開催となる今回は、『地域バイオマスの展開』をテーマに、日本大学の森田教授、国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課の石崎下水道国際・技術調整官をはじめ、地方公共団体等から多数の講師をお招きして、地域から発生する生ごみやし尿、剪定枝等を下水処理場で受け入れ、下水汚泥と併せて集約処理しエネルギーや肥料としての利用する地域バイオマス有効活用の取組みについて、最新の技術や取組みの好事例などのご講演頂きます。

是非ご参加いただき、今後の下水道事業の参考としていただきたいと思います。

【大阪会場】

日時：平成 29 年 11 月 17 日（金） 13：00～16：45

場所：大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4）

【東京会場】

日時：平成 29 年 11 月 28 日（火） 13：00～16：45

場所：発明会館（東京都港区虎ノ門 2-9-14）

※第 67 回新技術セミナーのプログラム及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar>

みなさまのご参加お待ちしております！

○第 32 回「下水道循環のみち研究会」のご案内（（一社）日本下水道施設業協会）

（一社）日本下水道施設業協会では、第 32 回「下水道循環のみち研究会」セミナーを下記の通り開催します。

今回の研究会は、国土交通省下水道部から、下水道ビジョン加速戦略の取りまとめにご尽力された末久課長補佐と、下水道事業予算のとりまとめにご尽力される堂菌企画専門官のお二人を講師にお招きしてお話し頂き、その後意見交換を行います。

・日時：平成 29 年 11 月 27 日（月） 午後 15 時 00 分～18 時 00 分

・場所：（一社）日本下水道施設業協会 大会議室

1. 「循環のみちを加速する」

講師：下水道企画課 課長補佐 末久正樹様

2. 「循環のみちと平成 30 年度下水道予算」

講師：下水道事業課 企画専門官 堂菌洋昭様

3. 意見交換

参加ご希望の方は 11 月 15 日（水）までに施設協 HP からお申し込みください。

積極的な参加をお待ちしております。

<http://www.siset.or.jp/contents/?CN=301&ID=156>

=====

【参考情報】

◆前橋市がマンホールふたを販売！ 申し込み殺到、倍率最高 40 倍超

〈10/28 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/life/news/171028/lif1710280021-n1.html>

◆中国電、エア・ウォーターとバイオマス発電 福島に施設 〈10/30 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ022893890Q7A031C1LC0000/>

◆仏ヴェオリアら 6 社が正式契約 浜松市の下水道運営権売却で 〈10/30 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ022882240Q7A031C1TJ1000/>

◆千葉県と木更津など 4 市、水道事業統合で協定 〈10/30 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ022886340Q7A031C1L71000/>

◆宮城県、水道3事業運営の官民連携で事業概要案 〈10/30 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ022882650Q7A031C1L01000/>

◆下水処理場が「太陽光+バイオマス発電所」に 〈10/31 日経テクノロジー〉

<http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/feature/15/302960/103000113/?rt=nocnt>

◆【宮古】浸水被害解消へ雨水ポンプ場着工 新川町地区 〈11/1 岩手日報〉

http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/news.cgi?hi=20171101_2

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
